

4 令和4年度予算における「かわさき10年戦略」の主な事業

川崎市総合計画における「かわさき10年戦略」では、まちに活気や活力をもたらす「成長」、市民に安心やうるおいを与え、まちに対する愛着を育てる「成熟」、成長と成熟の好循環を支える「基盤」づくりの3つの視点で、7つの戦略を設定しています。

ここでは、令和4年度予算におけるそれぞれの戦略の主な事業を紹介します。

また、本市は、SDGs^(※)の達成に寄与する取組を進めています。SDGsに関連する取組については、37ページを参照してください。

※SDGs（持続可能な開発目標）：国連において採択された、国際社会全体で取り組むべき世界共通の目標です。

戦略1 「みんなで守る強くしなやかなまち」をめざす

～自然災害や感染症等の危機事象に的確に備える安全・安心の地域づくり～

国土強靱化の推進

706,100 千円

(**△778,016千円**)

大規模な災害が発生しても市民の生命や財産を確実に守るため、各種防災計画に基づいたハード・ソフトの両面からの防災・減災対策を推進します。

★ 「かわさき強靱化計画」に基づく取組の推進

★ 災害情報通信システムの整備推進

- ・整備及び更新による機能の向上
- ・新本庁舎移転に伴う整備推進による安定性の向上 (拓)

不燃化の取組やまち全体の耐震化の推進

1,228,847 千円

(**+465,248千円**)

密集市街地における不燃化建替えの推進、民間建築物及び宅地等の耐震化の推進により、まち全体の耐震化などを図ります。

★ 密集市街地の改善に向けた重点対策の推進

- ・不燃化推進条例に基づく老朽建築物の除却や耐火性能強化等への助成
- ・小田周辺地区での防災まちづくりの推進

(新)…新規事業 (拓)…拡充事業

※複数の取組に該当する金額については重複計上
※金額の下段かっこ書きは対前年度増減額

★ 地域住民との協働による防災まちづくりの推進

- ・火災延焼リスクの高い地区における自助・共助を中心とした防災まちづくりの推進

★ 民間建築物及び宅地等の耐震化の推進

- ・沿道建築物をはじめとした特定建築物等や木造住宅の耐震改修工事等への助成
- ・大規模盛土造成地の調査や擁壁改修に向けた支援
- ・崖地に関する新たな技術を活用した変動の観測や相談支援により、宅地の防災性を向上 **新**



宅地防災工事助成制度を活用した擁壁の改修例

災害時の拠点となる本庁舎等の建替え

34,141,026 千円
(+27,877,050千円)

本庁舎等について、市民の安全で安心な暮らしを確保するため、災害対策活動の中核拠点として、高い耐震性能と業務継続性を確保した新本庁舎への建替えの取組を進めます。

★ 本庁舎等建替えの取組

- ・新本庁舎の整備
(令和4年度完成予定)
- ・第2庁舎の解体・跡地広場の整備
(令和6年度完成予定)



新本庁舎完成イメージ

上下水道機能の安定確保

21,025,346 千円
(+3,991,549千円)

大規模災害時でも水道と下水道がしっかりと機能するよう、施設の耐震化や老朽化した水道管路・下水管きよの更新を効率的に行うとともに、避難所となる市立小・中学校等に応急給水拠点を整備します。

★ 上下水道施設等の耐震化

- ・上下水道施設・管路・管きよ等の耐震化の推進
(令和4年度までに重要な水道管路及び配水池)
- ・配水塔の耐震化を完了)

★ 応急給水拠点の整備

- ・市立小・中学校等への開設不要型応急給水拠点の整備



地域防災力の向上

197,692 千円

(△5,787千円)

自らの生命は自ら守る意識の向上や、災害時に地域で助け合えるしくみづくりを行い、地域の自助・共助による防災・減災の取組を推進します。

★ 地域防災力の強化に向けた取組の推進

- ・総合防災訓練の実施
- ・「防災から始まる、力強いまち」の実現に向けた全市的な防災啓発
- ・自主防災組織への支援
- ・様々な災害に迅速に対応できるような体制の整備



区総合防災訓練の様子

消防力や救急医療体制の強化

13,468,299 千円

(△1,591,392千円)

消防署所の改築や消防指令センターの更新整備を行い、消防体制の強化を図るとともに、消防団員の処遇を改善し、消防団活動の充実強化を図ります。

★ 消防署所の整備

- ・宮崎出張所の改築による防災活動拠点の整備（令和5年度完成予定）(新)

★ 消防指令センターの更新整備

- ・消防指令システムのハードウェアの更新
- ・大規模災害時における部隊運用の改善等のシステムの一部機能強化

★ 消防団員の処遇改善 (拡)

- ・年額報酬を階級別に改定
一律 36,500 円 → 団員 36,500 円～団長 82,500 円
- ・出勤報酬を新設（費用弁償からの改定）
3,500 円/回 → 災害 8,000 円/日
非災害 3,500 円/日

感染症対策の強化

21,741,702 千円

(+14,027,575千円)

新型コロナウイルス感染症への適切な対応と、新興感染症等の発生予防・まん延の防止の取組を推進します。

★ 感染症の発生ステージに応じた国や県、医療機関等と連携した取組の推進 (拡)

気候変動に伴う風水害への適応力の強化

3,505,442 千円

(△589,590千円)

大雨による水害を防止する施設の整備など、治水・浸水対策を進めます。

- ★ 五反田川放水路の整備
- ★ 浸水シミュレーション等に基づく浸水リスクの高い重点化地区や局地的な浸水箇所における浸水対策の推進
- ★ 平瀬川の多摩川合流部の堤防整備 ⑨

防犯の取組や安全対策等によるまちの価値の向上

1,896,436 千円

(△29,328千円)

多様な主体との協働・連携による防犯対策の強化や、自主防犯活動団体への支援を行うなど、犯罪の未然防止に向けた取組を実施するとともに、鉄道事業者と連携した鉄道駅の安全対策を進めることにより、安全・安心なまちづくりを進めます。

★ LED防犯灯の設置等の推進や防犯カメラの設置支援

- ・防犯灯の計画的な維持管理や新規設置及び防犯カメラの設置支援

★ 交通安全対策の推進

- ・市民や警察等と連携した交通安全に係る広報・啓発等の取組

★ 総合的な犯罪被害者等支援の推進 ⑩

- ・ワンストップ支援窓口の設置、日常生活等の支援

★ 鉄道事業者と連携した安全対策等の推進

- ・鉄道主要駅におけるホームドアの設置支援



ホームドア設置例
(小田急登戸駅)

戦略2 「どこよりも子育てしやすいまち」をめざす

～安心して子育てできるしくみと地域全体で子育てを支える環境づくり～

希望する誰もが安心して子どもを預けられる環境づくり

83,177,626 千円

(+3,930,317千円)

待機児童の継続的な解消に向けて、認可保育所等の整備のほか、民間保育所職員等への総合的な処遇改善の推進、認可外保育施設への支援の充実、保育士確保対策の充実等、保育の質の維持・向上を図りながら、あらゆる手法により取組を推進します。

★ 認可保育所受入枠の拡大 ⑪

416 か所 (31,840 人) → 436 か所 (33,070 人)

★ 地域型保育事業による受入枠の拡大 ⑫

90 か所 (1,238 人) → 93 か所 (1,285 人)

★ 保育士等の処遇改善の実施

- ・認可保育所・地域型保育事業（小規模保育 A 型・B 型、事業所内保育）の経験年数 7 年目以上の職員を対象とした、国の処遇改善が的確に反映されるための市独自の 4 万円保障を実施

★ 幼稚園における保育ニーズへの対応 ⑧

- ・認定こども園 14 園（840 人） → 18 園（923 人）

★ 幼稚園における就労家庭の園児受入の促進 ⑧

- ・園児受入を促進するために補助要件の見直しを実施

★ 保育士確保対策の推進

- ・リモートを含む就職相談会・保育所等見学事業等によるマッチング機会の充実



★ 認可保育所等の整備

515 人分（保育所 10 か所 515 人分）

※上記の新規整備のほか、川崎認定保育園の認可化・小規模保育事業化や既存保育所の定員増等により令和 5 年度に向けて 967 人分の受入枠を拡大

★ 保育・子育て総合支援センターの整備

- ・高津区内（津田山保育園・地域子育て支援センター） 基本計画
- ・宮前区内（土橋保育園・地域子育て支援センター） 新築工事
- ・多摩区内（土淵保育園・地域子育て支援センター） 仮園舎整備

子どもがすこやかに育つ安全な環境づくり

24,791,827 千円
(+3,370,845 千円)

子どもがすこやかに安心して育つよう、児童虐待の未然防止や支援が必要な家庭・子どもへの専門的な支援体制を充実します。

★ 児童養護施設・乳児院等における施設の機能強化 ⑧

- ・施設職員の確保・定着・育成に向けた処遇の更なる改善として、保育士、児童指導員等を対象とする宿舍借り上げ支援事業を実施
- ・乳児院における夜間体制の強化

★ 児童相談体制の強化に向けた施設整備

- ・中部児童相談所の整備 改修工事等
- ・北部児童相談所の増築 増築工事
- ・こども家庭センター執務室の拡張 改修工事

★ ひとり親家庭支援施策の推進

- ・ひとり親自立支援の4本柱（「子育て・生活支援」「就業支援」「養育費確保」「経済的支援」）に基づく、支援施策の充実に向けた取組を実施
- ・養育費の立て替え払いを行う保証会社の活用に係る手数料の一部補助に加え、公正証書作成に対する手数料の補助を新たに実施 ④
- ・「高校生等通学交通費助成事業」「通勤交通費助成事業」の対象者をひとり親家庭等医療費助成制度対象者まで拡充 ④

★ 障害児等への適時適切な相談・支援の実施

- ・障害のある子どもや発達に心配のある子どもの地域生活の充実に向けた子ども発達・相談センターの整備の推進 ④
- ・医療的ケア児を支援する障害福祉サービス事業所の充実に向けた取組 ⑤
- ・小・中学校等における医療的ケアを必要とする児童生徒への支援

子ども・若者の安心できる居場所づくり

5,171,929 千円
(+412,258 千円)

多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくりや、子ども・若者の多様な居場所の確保に向けた取組を進めます。

★ 地域の寺子屋の開講 ④

- ・全小・中学校での開講に向けた事業の推進（新規開講予定 15 か所）

未来を担う人材の育成

3,345,403 千円
(+316,751 千円)

子どもたちの生涯にわたる学びや暮らしの基礎となる「生きる力」を伸ばし、学ぶ意欲や態度を育むことを大切にしながら「確かな学力」を育みます。

★ 「分かる」授業の実現への学力調査・授業改善研究の推進 ④

- ・市学習状況調査の対象学年拡充に向けたモデル実施
小学校5年生・中学校2年生 → 小学校4年生～中学校3年生

★ 「キャリア在り方生き方教育」の推進

- ・全校での将来の社会的自立に必要な能力・態度と共生・協働の精神の育成
- ・子どもたちが主体的に学ぶ力を育む「キャリア・パスポート」の活用

★ 新学習指導要領を踏まえた英語教育の充実

- ・ALT（外国語指導助手）の配置

★ 学校図書館の充実 ④

- ・小学校へ学校司書を配置 56 校 → 70 校



★ 「かわさき GIGA スクール構想」の推進

- ・学習履歴（スタディ・ログ）などの教育データの活用 **新**

★ 児童生徒一人ひとりに寄り添った教育支援 **拡**

- ・専門相談支援の充実
 - スクールカウンセラー 52名 → 57名
 - 学校巡回カウンセラー 7名 → 15名
 - スクールソーシャルワーカー 8名 → 11名
- ・ICT活用による不登校児童生徒の学習の支援

安全で快適な教育環境の整備

8,115,339 千円

(**△3,543,751 千円**)

(**※令和3年度補正予算対応 11,157,321 千円**)

人口動態や義務標準法改正の影響を踏まえ、校舎増築や小学校新設に向けた取組を推進します。また、学校施設長期保全計画に基づく学校施設の改修により、施設の長寿命化を図るほか、トイレの快適化やバリアフリー化など、教育環境の質的向上を進めます。

★ 児童生徒数・学級数の動向に応じた計画的な施設整備

- ・地域ごとの児童生徒数の動向や義務標準法の改正（35人学級の段階的な実施）に伴う影響を踏まえた良好な教育環境整備の推進

★ 新川崎地区の小学校新設に向けた取組

- ・実施設計の実施

★ 学校施設の長寿命化に向けた取組

- ・校舎 **36校** 【補正含む】
- ・体育館 **23校** 【補正含む】

★ 学校トイレの改修

- ・工事実施 **26校** 【補正含む】
(全市立学校のトイレ快適化完了)



再生整備実施例（住吉中学校）

多様性や子どもの権利が認められる社会の実現に向けた取組の推進

2,859,578 千円

(**+58,131 千円**)

子どもたちの人権感覚や人権意識、多文化共生と多様性を尊重した意識の育成とともに、子どもの権利を尊重する社会づくりに向けた取組を推進します。

★ 中央支援学校の狭あい解消や更なる教育内容の充実に向けた施設整備

★ 「川崎市子ども会議」等の充実による子どもの育ちと意見表明の促進 **拡**

戦略3 「みんなが生き生きと暮らせるまち」をめざす

～誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で

安心して暮らし続けることができるしくみづくり～

総合的なケアの推進

6,294,492 千円

(+400,412千円)

誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域を実現するため、「地域包括ケアシステム推進ビジョン」に基づく取組を推進します。また、全世代・全対象型の地域リハビリテーションや、認知症対策、質の高い介護サービスを支える人材の確保等に向けた取組を推進します。

- ★ 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組
- ★ 全世代・全対象型の地域リハビリテーションの推進
- ★ 認知症の人や家族を地域で支える体制の構築 ④
 - ・認知症地域支援推進員の各区への配置
- ★ 質の高い介護サービスを支える人材の確保 ④
 - ・介護職員一人ひとりが長く働き続けられる環境づくりに向けた取組の推進
- ★ 障害福祉サービス基盤の整備
 - ・障害者通所施設（幸区・高津区）の整備
（幸区：令和4年度完成予定・高津区：令和5年度完成予定）

健康寿命の延伸に向けた取組

5,263,484 千円

(+35,223千円)

健康的な状態で長生きができるよう、市民の生涯を通じた主体的な健康づくりの促進や、国民病ともいふべき「がん」や生活習慣病の予防に向けたがん検診等の受診率向上の取組を推進するとともに、介護サービスの質を評価する取組を実施します。

- ★ 市民の健康づくりの促進 ④
- ★ がん検診の受診率向上に向けた取組
- ★ かわさき健幸福寿プロジェクトの推進

誰もが暮らしやすい住環境づくり

3,427,756 千円

(△831,627千円)

誰もが安心して暮らせる住まいの確保等を図るため、住宅の質の向上や既存住宅の適切な管理や利活用を促進するとともに、居住ニーズ等に応じた住宅を確保しやすいしくみづくりや、重層的な住宅セーフティネットの構築に向けた取組等を推進します。

★ 社会経済状況の変化に対応した住宅施策の推進

- ・民間賃貸住宅等を活用した居住支援の取組
- ・分譲マンションの管理適正化に向けた取組の推進

★ 市営住宅の建替えや地域包括ケアシステムの構築に資する市営住宅の活用推進

- ・「市営住宅等ストック総合活用計画」に基づく建替え
- ・大規模建替えに伴う市営住宅用地の活用



初山住宅完成イメージ

社会的・経済的自立に向けた取組の推進

1,784,221 千円

(Δ 411,359千円)

障害者本人の希望を踏まえた就労支援や、ひきこもり地域支援センターを中心とした支援などの取組を推進します。

★ 障害者の特性に応じた就労等に向けた取組の推進 ⑧

- ・障害特性を踏まえた就労マッチングに向けた職場実習及び障害者雇用を進めている企業への支援の実施

★ ひきこもり地域支援センターにおける取組の推進

誰もが生きがいを持てる地域づくり

3,356,223 千円

(Δ 558,576千円)

誰もが地域で生き生きと暮らせるよう、高齢者や障害者の社会参加を促進するための取組を推進します。

★ 高齢者の社会参加・生きがいづくりの促進に向けた取組

- ・高齢者フリーパス等のICTの導入（令和4年度完了予定）

戦略4 「もっと便利で快適な住みやすいまち」をめざす

～便利で快適な暮らしを実現する拠点整備や、

緑と水のうるおいにあふれるまちづくり～

広域拠点の整備

551,891 千円

(+112,349千円)

民間活力を活かしながら、本市の玄関口としてふさわしい都市機能の誘導・都市基盤の整備等を進めます。

★ 川崎駅周辺地区、京急川崎駅周辺地区整備の推進

- ・民間開発の誘導と都市基盤の再編整備の推進

★ 小杉駅周辺地区における民間開発の誘導等の推進

★ JR武蔵小杉駅新規改札口設置に向けた取組等の推進

★ 新百合ヶ丘駅周辺地区整備の推進

地域生活拠点等の整備

7,453,902 千円

(+533,625千円)

鉄道駅を中心とした商業、業務、都市型住宅等の機能の集積や交通結節機能の強化など民間開発の適切な誘導と支援により、都市機能がコンパクトに集約された都市拠点の形成を図ります。

★ 登戸土地地区画整理事業の推進

★ 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区のまちづくりの推進 (新)

★ 鷺沼駅前地区市街地再開発事業の推進

- ・再開発事業に関する都市計画手続の推進

★ 柿生駅前南地区の再開発事業の推進

- ・再開発事業に関する都市計画手続に向けた取組の推進

幹線道路網の整備・局所的な渋滞対策

11,390,622 千円

(+1,006,518千円)

道路交通の円滑化や渋滞緩和に向け、効率的・効果的に都市計画道路等の整備や連続立体交差事業等を推進します。

★ 都市計画道路等の整備

★ 緊急渋滞対策の推進

★ 国道357号などの国直轄道路の整備促進

★ 京浜急行大師線の連続立体交差事業の推進

★ JR南武線の連続立体交差事業の事業化に向けた取組の推進

★ (仮称)等々力大橋・末吉橋の整備



鉄道ネットワークの形成

94,032 千円

(Δ5,077千円)

鉄道ネットワークの形成に向け、鉄道事業者等と連携した取組を推進します。

★ 横浜市高速鉄道3号線延伸に向けた取組の推進

- ・新百合ヶ丘駅及び中間駅周辺の基盤整備に係る検討の推進

身近な交通環境の形成によるコンパクトで暮らしやすいまちづくり

982,954 千円

(+732,929千円)

地域公共交通を取り巻く環境変化等を踏まえ、効率的・効果的な路線バスネットワークの形成とともに、多様な主体等との連携やさまざまな運行手法の活用によるコミュニティ交通の導入促進などの取組を推進します。

★ 路線バスネットワークの形成に向けた取組

- ・駅前広場の整備等を踏まえた、効率的かつ効果的な路線バスネットワークの形成に資する新規路線・路線見直し等の検討

★ コミュニティ交通の支援 ⑧

- ・「地域交通の手引き」の見直しに伴うコミュニティ交通の充実・新たなモビリティサービスの実証に向けた支援

★ 駅アクセスの向上に向けた取組の推進

- ・JR南武線稲田堤駅の橋上駅舎・自由通路の整備

緑と水の環境形成

933,561 千円

(+17,009千円)

市制 100 周年の節目に開催する「全国都市緑化かわさきフェア」を契機として、みどりを活用した心豊かな暮らしの実現を図ります。

★ 緑化フェア開催に向けた取組の推進

★ 多摩川の魅力を活かす取組の推進

★ 農地の保全・活用と「農」とのふれあいの推進

- ・特定生産緑地の指定の推進

魅力にあふれる公園緑地のパークマネジメント

2,289,928 千円

(+1,086,623千円)

公園緑地等において、誰もが気軽にスポーツを楽しめる場の提供や、子どもが自然の中で遊び学べる場の創出に向けた取組を進めます。

★ 公園緑地等の管理運営の推進

- ・身近なスポーツ施設及び自然体験の場の創出に向けた取組の推進 ⑨

★ 新たなみどりの担い手の確保・育成に向けた取組等のグリーンコミュニティ形成の推進 ⑩

★ 大規模な公園緑地の整備

★ 魅力的な公園の整備

地域資源等を活かした魅力的な都市空間づくり

388,172 千円

(+24,203千円)

地域資源を活用し、地域の新たな魅力創出や活性化を図ります。

★ 地域緑化の促進によるみどりのまちづくりの推進

★ 木材利用の促進

- ・国産木材の消費地として、林産地の自治体等と連携した、建築物等における木材の利用促進や、木の良さの普及啓発

戦略5 「世界に輝き、技術と英知で、未来をひらくまち」をめざす

～脱炭素化の実現と、環境と産業が調和し、活気にあふれたまちをめざす取組～

脱炭素化の推進

22,304,742 千円
(+8,841,064千円)

2050年の脱炭素社会の実現に向けて、二酸化炭素等の排出量削減に向けた取組（緩和策）及び気温上昇や短時間強雨の発生など気候変動の影響に対する取組（適応策）を進めます。また、プラスチック資源循環施策の強化・拡充によるリサイクルの取組を推進するほか、処理施設の長寿命化を図ります。

★ 市民・企業等との協働による温室効果ガス削減

- ・脱炭素モデル地区の脱炭素化に資する優れた事業に対する支援 **新**
- ・公共施設への更なる再生可能エネルギー導入を目指した、PPAモデル（屋根貸し自家消費型太陽光発電設備設置）の活用に向けた取組 **新**
- ・脱炭素先行地域づくりや事業者の新たな評価・支援制度の構築 **新**
- ・公用乗用車への電動車（HV、電気自動車等）の率先導入 **拡**
- ・庁舎等建物内照明のLED化 **拡**



★ グリーンイノベーションの推進及び中小企業に対するESG投融資の促進

- ・川崎国際環境技術展やグリーンイノベーションクラスター等において創出された事業への伴走支援や中小企業向けの脱炭素への意識醸成セミナーの実施 **拡**
- ・ESG投融資の普及による中小企業の脱炭素経営等の促進 **新**
- ・環境技術を活かしたグリーンイノベーションの推進に向けた企業連携及び支援の取組

★ 地域エネルギープラットフォームを担う「地域エネルギー会社」の設立に向けた取組 **新** (令和5年度設立予定)

★ 処理施設の安定的な運営及び長寿命化の推進

- ・橋処理センター整備事業の推進
(令和5年度稼働予定)



★ ごみ減量・リサイクルの推進

★ プラスチック資源循環施策の推進

- ・プラスチックごみ一括回収に向けた実証事業等の実施 (新)

★ 川崎港のカーボンニュートラル化の推進 (新)

◎ グリーンボンドの活用

- ◆ 用途を環境改善効果のある事業に限定した市債（グリーンボンド）を発行し、ESG投資の活性化を図ります。

(発行額 100 億円)

◎ 電動車の普及に向けた固定資産税（償却資産）に係る減免措置の創設

- ◆ 電動車の普及に向けたインフラ環境の整備を税制面から支援するため、固定資産税（償却資産）の減免措置を創設し、水素ステーション及び充電設備に係る税額を令和4年度課税分から取得後一定期間ゼロとします。

水素戦略の推進

32,703 千円

(+12,862千円)

水素社会の実現に向けて、「川崎水素戦略」等に基づき、臨海部におけるCO₂フリー水素等の供給・需要拡大に向けた取組、カーボンニュートラルコンビナートの構築及び水素エネルギーの利活用に関する理解促進に向けた取組を推進します。

★ 水素等の供給・需要拡大に向けた取組の推進

- ・CO₂フリー水素等の供給・需要拡大を目指し、水素等へのエネルギー転換などのプロジェクト創出に向けた調査・協議の実施

★ カーボンニュートラルコンビナートの構築 (新)

- ・臨海部をカーボンニュートラル化しながら産業競争力を強化する取組の推進

★ 水素エネルギー利活用の理解促進

- ・市民や企業に向けた水素に関する情報発信



使用済みプラスチックから水素等を製造するプラント
(昭和電工川崎事業所)

デジタル化・国際化に対応したイノベーションの推進

874,812 千円

(Δ 74,478 千円)

様々な分野におけるイノベーション（革新）を推進するため、多様な主体による連携を図るとともに、イノベーション拠点の整備を推進します。また、デジタルファーストの行政サービスの提供や地域社会のデジタル化に向けた取組を推進します。

★ ライフ・ウェルフェアイノベーションの推進

- ・ ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）の運営支援及び研究を促進する戦略的な取組
- ・ Kawasaki Welfare Technology Lab（ウェルテック）の運営による福祉製品等の創出支援



ナノ医療イノベーションセンター
(iCONM)

★ オープンイノベーションの推進

- ・ 「新川崎・創造のもり」における、かわさき新産業創造センター（KBIC）を拠点としたベンチャー企業等の成長や量子コンピューティング技術の普及・人材育成の促進



産学交流・研究開発施設
(AIRBIC)

★ 社会全体のデジタル化に向けた取組の推進

- ・ オンライン決済等に対応した次期電子申請システムの導入による市民の利便性の向上 (拓)
- ・ ぴったりサービスの活用によるマイナンバーカードの利用促進 (新)
- ・ 地域人材等を活用したデジタルデバイド対策の実施 (拓)

中小企業の支援・商業の振興

22,594,543 千円

(Δ 8,269,209 千円)

中小企業活性化条例に基づき、地域経済の発展に大きく貢献する中小企業の技術力・製品開発力の強化や生産性の向上のほか、デジタル化・脱炭素化への対応や事業承継・事業継続への支援等、中小企業の活性化に向けた取組を行います。

★ 市内中小企業・商業等の支援

- ・ 起業家支援拠点K-NICなどによるベンチャー企業の創出・成長の支援
- ・ 産業集積の維持・強化に向けた市内への企業立地支援 (新)
- ・ 社会経済環境の変化に対応した制度融資による支援
- ・ 商店街が実施するイベントや地域課題の解決等に向けた取組の支援 (拓)
- ・ 他の自治体等との連携による知的財産を活用した新製品開発等の支援
- ・ 海外展開に向けた自社コンテンツの多言語化や越境EC等への取組の支援

★ 中小企業のデジタル化などの社会変化への対応

- 中小企業の競争力強化に向けたデジタル化への支援 (新)
- 経営者の高齢化や自然災害等に対応した事業承継・事業継続への支援
- 商業者のデジタル化や意欲ある商業者の発掘・育成の取組の推進 (新)
- 中小企業のSDGs経営に向けた取組の支援 (新)
- デジタル化やICT活用による中小企業の働き方改革と生産性向上の支援

都市農業の振興

120,533 千円
(+ 756 千円)

都市農業の振興に向けた多様な担い手の発掘・育成による新規就農の促進及び新たな農業価値創造の取組等を推進します。

★ 都市農業振興施策の推進 (拡)

- 新規就農者への経営支援等による都市農業活性化
- 農業経営を開始する法人等に対する施設整備等の支援

就業の支援

323,258 千円
(△ 1,172 千円)

雇用のミスマッチ、若年無業者、就職氷河期世代等の課題に対応するため、雇用情勢等に合わせて、求職者のニーズに応じた就業支援を行います。

★ 総合的な就業支援の実施及び多様な人材活躍の推進

- キャリアサポートかわさきの求人開拓員の拡充維持等による就業支援
- コネクションズかわさきによる若年無業者等の職業的自立支援
- 就職氷河期世代への正規雇用に向けた就業支援
- 求職者支援との連携を強化した中小企業の多様な人材確保・活躍支援

臨海部の活性化

10,472,112 千円
(+ 57,943 千円)

力強い産業都市づくりの中心となる役割を担う川崎臨海部の活性化に向け、「臨海部ビジョン」に基づき、企業の操業環境の向上や産業競争力の強化に向けた投資促進制度、大規模な土地利用転換、殿町国際戦略拠点（キングスカイフロント）におけるイノベーションの創出などの取組を推進します。さらに、産業活動を支える交通や港湾機能の強化に取り組みます。

★ 臨海部の競争力強化

- 投資促進制度を活用した基幹産業の高度化・高機能化の促進に向けた取組や、立地誘導の仕組みの創設に向けた検討



空から見た川崎臨海部と羽田空港

★ 臨海部の新産業創出拠点の形成 ⑧

- ・南渡田地区における高度かつ最先端の研究開発や新たな価値の創出を行う新産業創出拠点の形成に向けた取組

★ 大規模な土地利用転換の取組の推進 ⑧

- ・臨海部の持続的な発展につなげる大規模土地利用転換の取組の推進

★ 国際戦略拠点の形成・マネジメント

- ・研究成果から自律的に新たな産業が生まれる「エコシステム」の構築を目指した取組の推進
- ・立地機関の研究・事業活動の活性化支援や市内産業への波及、起業を促進するインキュベーション機能の強化に向けた取組の推進 ⑧
- ・キングスカイフロントの高水準・高機能な拠点整備



キングスカイフロント

★ 交通機能の強化

- ・新たな基幹的交通軸（BRT等）及び交通拠点の整備に向けた取組の推進

★ 臨港道路東扇島水江町線の整備

★ 港湾物流機能の強化

- ・東扇島堀込部の土地造成に向けた取組
- ・川崎港コンテナターミナルの利用促進・活性化に向けた取組



川崎港コンテナターミナル

戦略6 「みんなの心がつながるまち」をめざす

～あらゆる人々が社会に参画し、

多様性が息づき誰もが暮らしやすいまちづくり～

パラムーブメントの取組の推進

1,143,864 千円
(△135,373千円)

誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指せる地域づくりのためにかわさきパラムーブメントの取組を推進するとともに、先導的共生社会ホストタウンの取組を推進します。

★ かわさきパラムーブメントの取組の推進

・理念の浸透に向けた事業展開

各種イベント等での普及啓発活動やロゴを活用したプロモーションなどを通じて、多様な主体の参加を得ながら「かわさきパラムーブメント」の考え方を広く市民や事業者に向けて発信し、理念浸透を図ります。

・レガシー形成に向けた取組

「障害は社会が作り出している」という「障害の社会モデル」の考え方を体験しながら学べる機会の提供や、市民、企業、行政等の多様な主体と連携したレガシー形成に向けた取組を進めます。

・先導的共生社会ホストタウンの取組

国内における英国との文化交流と教育機会を促進する英国の公的な国際文化交流機関であるブリティッシュ・カウンシルと連携した事業を引き続き進めていくなど、英国と関係のある様々な団体等と連携しながら、共生社会の実現に向けた取組を進めます。

★ ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

- ・高齢者や障害者にも利用しやすい環境整備や、外国人等にも配慮した表示など、誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン社会の実現に向けたまちづくりの推進

人権と多様性が尊重されるまちづくりの推進

70,310 千円
(+3,450千円)

令和元年12月に制定した「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」に基づき、すべての市民が不当な差別を受けることなく、個人として尊重され、生き生きと暮らすことができる人権尊重のまちづくりや、多文化共生社会の実現に向けた取組を推進します。

★ 平等と多様性を尊重した人権関連施策の推進

- ・「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」に基づく取組の推進
- ・「多文化共生社会」の実現に向けた取組の推進

スポーツ・文化芸術の振興

3,576,350 千円
(△45,851千円)

スポーツを通じた市民生活の充実と、スポーツ資源を活用したまちづくりを進めるとともに、誰もが文化芸術を楽しむことのできる「アート・フォー・オール」のまちづくりを目指す取組を進めます。

★ スポーツのまちづくりの推進

- かわさき多摩川マラソンなどの各種スポーツ事業の実施
- 障害者スポーツ大会の開催などのパラスポーツの普及・促進に向けた取組の推進

★ 若者文化の発信

- 日常の施設として若者文化創造発信拠点の整備・運営の支援及び公園や河川敷などへの環境整備に向けた検討 ㊦
- ブレイキンの世界大会の誘致及び開催の支援 ㊦
- ブレイキンやダブルダッチなどのストリートカルチャーが結集した川崎発の世界的な大会開催の支援
- 地域における若者文化の認知度向上や機運醸成を図るための体験会などの開催



「INTERNATIONAL STREET FESTIVAL
KAWASAKI 2021」の様子

★ 市民の文化芸術活動の振興

- 「アート・フォー・オール」推進モデル事業の実施 ㊦
- 文化団体等と協働・連携した各種文化芸術事業の実施

★ 被災収蔵品の修復等と新たな博物館、美術館の整備に向けた取組の推進

- 市民ミュージアム管理運営事業の推進

★ 橋樹官衙遺跡群の保存・整備・活用の推進

- 「国史跡橋樹官衙遺跡群保存活用計画」に基づく史跡指定地の公有地化及び活用・調査研究の推進
- 「国史跡橋樹官衙遺跡群整備基本計画」に基づく史跡整備の推進と公有地化の進捗に伴う計画の見直し



橋樹官衙遺跡群整備イメージ
(整備基本計画第1期)

★ 音楽や映像のまちづくりの推進

- 「ミュージア川崎シンフォニーホール」を活用した音楽のまちづくりの推進
- 多様な活動団体との連携によるかわさきジャズや、ロケ地川崎推進事業など市内の音楽や映像に関する資源を活用した取組の推進



ミュージア川崎シンフォニーホール

協働により、心がつながるコミュニティづくり

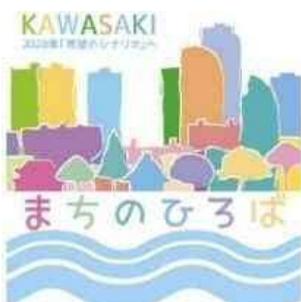
6,765,292 千円

(+1,058,429千円)

誰もが暮らしやすく支えあうコミュニティづくりのため、様々な主体の協働・連携により、地域における多様なつながりを育みながら、市民自治と社会的包摂の進んだ、市民創発型の豊かな市民社会に向けた環境づくりを進めます。

★ 多様な主体による協働・連携のしくみづくり

- ・「市民創発」による持続可能な暮らしやすい地域の実現に向けた「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく、誰もが気軽に集え、多様なつながりを育む地域の居場所「まちのひろば」の創出や、様々な活動をしている人たちのつながりの場となる区域レベルの拠点「ソーシャルデザインセンター」の創出や運営支援等の取組の推進



「まちのひろば」
ロゴマーク

多摩区ソーシャル
デザインセンター

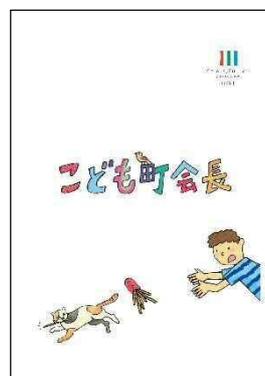


- ・「区における行政への参加の考え方」に基づき、区民会議のリニューアルに向けた新しい参加の場として、各区で区民による対話の場「地域デザイン会議」を試行実施

★ 町内会・自治会の活動を支える取組の推進

- ・町内会・自治会活動応援補助金の活用による活性化支援
- ・地域コミュニティ力向上に向けた町内会・自治会の魅力発信

～絵本で伝える地域活動～
町内会・自治会活動参加啓発絵本



★ 生涯学習や地域活動の場としての学校施設の有効活用 ㊦

- ・更なる学校施設の活用に向けた Kawasaki 教室シェアリングの推進
- ・子どもが校庭でやりたい事の実現に向けた、みんなの校庭プロジェクトの取組の推進



Kawasaki 教室シェアリング
ロゴマーク



地域の方と校庭で遊ぶ子どもたち

シティプロモーションの推進

378,331 千円
(+50,298千円)

市民が愛着と誇りを持ち、誰もが訪れたい川崎を目指すため、地域資源を磨き上げるだけでなく、新たな地域資源の発掘・創出に取り組むとともに、川崎の魅力が広く伝わる戦略的なシティプロモーションを推進します。

★ 川崎の魅力を活かしたシティプロモーションの推進

- ・ブランドメッセージ等を活用した、効果的な情報発信や民間事業者等との連携による、都市イメージの向上及びシビックプライド醸成に向けた取組の推進

ブランドメッセージ

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

★ 市制100周年に向けた取組の推進 新

- ・多彩な記念事業の実施に向けた計画の策定
- ・市民、企業、団体等の多様な主体と連携した実施体制の整備
- ・クラウドファンディングを活用した機運醸成プロジェクトの実施



大正13（1924）年 川崎市制記念写真

★ 川崎の特性を活かした観光の振興

- ・観光協会や民間事業者等と連携した取組の推進
- ・「かわさき きたテラス」観光案内所における多言語による観光情報の提供
- ・近隣都市からの誘客に向けた、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えたマイクロツーリズム及び「ナイトタイムエコノミー」の推進



2019年度「ステキな施設の認定案内所」に選ばれた「かわさき きたテラス」



市民を対象とした工場夜景ツアー



プロジェクションマッピング開催イメージ

戦略7 「チャレンジを続け、いつまでも活力あふれるまち」 をめざす

～市役所全体の質的向上と持続可能なまちづくり～

行財政改革の推進

市民ニーズや地域課題を的確に把握しながら、市民サービスと市役所内部の質的改革を進め、経営資源の確保と質の高い市民サービスの提供に向けた取組を推進します。

- ★ 社会経済状況の変化を踏まえた市民サービスの再構築
- ★ 市役所の経営資源の最適化
- ★ 多様な主体との協働・連携の更なる推進
- ★ 庁内の人材育成と意識改革

資産マネジメントの推進

将来的な人口動向を見据え、必要な時期に、必要な規模の行政機能の提供を行うために、資産保有の最適化への重点的な取組を進めます。

- ★ 「資産保有の最適化」「施設の長寿命化」「財産の有効活用」の推進

デジタル化の推進

市民の利便性と行政サービスの質の向上に向けて、デジタル化の取組を進めます。

- ★ デジタル技術とデータを活用した「市民サービス向上」と市役所内部の「業務改革」の推進

地方分権改革の推進

県と指定都市にある二重行政を徹底的に廃し、効率的で、迅速な行政サービスを実行するために、特別自治市制度の実現に向けた取組を進めます。

- ★ 特別自治市制度の実現に向けた広報活動等の実施 (新)

健全な財政運営

「必要な施策・事業の着実な推進」と「持続可能な行財政基盤の構築」の両立に向けた取組を進めます。

- ★ 「今後の財政運営の基本的な考え方」に基づく財政運営

「SDGs未来都市」としてSDGsの達成に寄与する取組を推進しています

〇本市のSDGsの取組について

- ◆令和元年7月、政府から「SDGs未来都市」の選定を受け、環境・社会・経済の三側面の統合を図りながら、川崎発の優れた取組を国内外に発信しています。



川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

〇令和4年度のSDGsに関連する主な事業

- ◆「SDGs未来都市」の取組の推進
 - ・川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」と「川崎市SDGsプラットフォーム」の効果的な運用により、多様なステークホルダーの連携・協働を推進します。
- ◆地球温暖化対策の推進
 - ・脱炭素社会の実現に向けて、「地球温暖化対策推進基本計画」に基づく取組を推進します。
- ◆持続可能な循環型のまちをめざした取組の推進
 - ・プラスチックごみの一括回収に向けた実証事業等を実施します。(新規)
- ◆中小企業の脱炭素化への取組やSDGs経営の推進
 - ・ESG投資の普及により中小企業の脱炭素経営等を促進します。(新規)
 - ・中小企業のSDGs経営に向けた取組を支援します。(新規)
- ◆協働の取組による緑の創出と育成
 - ・「全国都市緑化かわさきフェア」を契機とした緑の価値の創出に向けて、多様な主体との協働・共創による取組を進めます。
- ◆介護現場を支える人材の確保
 - ・福祉人材の確保に向けて、介護職員一人ひとりが長く働き続けられる環境づくりに取り組みます。(拡充)
- ◆木材利用の促進
 - ・国産木材の消費地として、利用促進や普及啓発の取組を進めます。
- ◆カーボンニュートラル化の推進
 - ・臨海部のカーボンニュートラル化実現に向けた取組を推進します。(新規)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



川崎市ホームページ「SDGs未来都市」
<https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/54-10-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

